



飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 志賀利彦
 ガバナー補佐 安斎忠作
 会長 村上裕司
 幹事 生田目正志

5月は青少年奉仕月間

専仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021 - 2022 年度 ◆ 例会日 / 木曜日 12 : 30 ◆ 例会場 / かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 シェカール・メータ 事務局 / 〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
 カルカッタマナガールRC (インド)

通算

第25回 [3067] 例会報告 令和4年(2022) 5月26日(木)

出席委員会報告

会員総数	42名
オンライン出席	26名
欠席会員	16名
出席率	61.91%

総参加者数 79名
 (ゲスト53名 会員26名)

オンライン (Zoom) 13:30開催
 ホスト 飯坂ロータリークラブ
 司会 高田 薫 会員 (飯坂 RC)

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

国際 R I 第 2530 地区 2021-22 年度 県北第二分区

インターシティミーティング

◆開会点鐘 村上裕司 会長

◆主催者挨拶 安斎忠作 県北第二分区ガバナー補佐 本日はお忙しいところ、県北第二分区のIMに志賀ガバナー様はじめ、大勢の方々にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本来であれば、4月9日に飯坂吉川屋において開催の予定でありましたが、4月7日に我が家で息子らがコロナにかかってしまい、急遽延期の決定をさせていただきました。皆様方にはご迷惑をおかけした次第です。本当に申し訳ございませんでした。本日は公共イメージ・IT委員長の相良元章様より「ロータリーにおけるIT化推進の状況について」の基調講演をいただきます。よろしくお願い申し上げます。その後、各クラブよりクラブのIT化の現況と問題点をお伝えしていただきたいと思っております。今回のIMがロータリー活動の活性化につながることをご祈念申し上げて、挨拶とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。



新事務所に志賀ガバナーをお迎えして

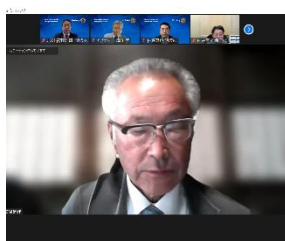
◆ホストクラブ会長挨拶 村上裕司 飯坂ロータリークラブ会長 本日は多くのロータリアンの皆さん、ご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。ホストクラブ飯坂ロータリークラブ会長の村上裕司が一言ご挨拶を申し上げます。4月のIM開催はコロナで延期になってしまいましたが、本日はオンラインという形で開催できますこと、大変嬉しく思っておりますし、大変ありがたく思っております。今日は長時間、皆様と一緒に勉強させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◆ガバナー挨拶 第2530地区ガバナー 志賀利彦 様 県北第二分区のIM開催にあたりご挨拶を申し上げます。インターシティミーティングの主な目的は、会員相互の親睦と知識を広げること、また、会員にロータリー情報をお伝え、立派なロータリアンを養成することにあります。近隣クラブの会員同士が共通のテーマで語り合い、知識と親睦の輪を広げる意味は、大変大きいものがあると思っております。新型コロナウイルスの影響は、私たちの予想をはるかに超え、長期間に及んでおります。この2年半、ロータリーの各種会合・行事もほとんどがZoom等のオンライン開催となりました。何とか工夫しながらロータリー活動を進める中で、急速に地区内のIT化が進んでまいりました。本日のIMのテーマは、まさにこうした時代にふさわしいIT化に焦点を絞ったものとなっております。公共イメージ・IT委員会の相良委員長のお話や、各クラブのIT化に関する発表等が聞かれるのを楽しみにしております。本日のIMが、共に学び、親睦と絆を深め、明日からのロータリー活動の糧となる、実り多い会合となりますようご祈念申し上げます。最後に、準備にあられた安斎忠作ガバナー補佐をはじめ、ホストクラブ実行委員会の皆様方に感謝を申し上げてご挨拶といたします。本日は誠にありがとうございました。

◆講師・出席者紹介 安斎忠作 県北第二分区ガバナー補佐



志賀利彦ガバナー



安斎忠作ガバナー補佐



司会の高田薫会員



村上裕司飯坂RC会長

◆ 基調講演「R I および地区の I T 化推進の現状」

R I 第 2530 地区 2021-22 年度公共イメージ・I T 委員長 相良元章 氏



皆様、改めまして、公共イメージ・I T 委員長の相良でございます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。今日は皆様の様々なご意見やご質問等をいただきながら、さらに地区の上にも役立てていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。さて、今日のお題ですが「地区の R I および地区の I T 化推進の現状」ということで、なかなか難しいタイトルをいただいたわけでありませう。ちょっとだけ、自己紹介をさせていただきたいと思っております。私は 1966 年、昭和 41 年生まれです。子供が 3 人おり、妻と犬が 1 匹おります。職業分類は、ガスの販売を福島市飯坂町の方で行って

おります。ロータリー暦ですが、2011 年のちょうど震災のちょっと前に入会させていただきました。

早速本題に入ります。R I および地区の I T 化推進の現状ということで、今日は 3 つのポイントに絞って、皆様にお伝えしたいと思っております。まず 1 つ目が、オンライン会議についてです。このコロナ禍の中で、オンライン会議が当たり前ようになってきて、リアルな会議が本当に減りました。一方で、ロータリーのコミュニケーションにつきましては、例会が開催できないなど、そういう話がたくさんあり、そういう意味でオンライン会議をどう取り扱っていくか話題になっております。2 つ目ですが、ホームページや SNS の発信について、少し考えてみたいと思っております。3 つ目、これは My Rotary の活用 です。本日はこの 3 つについてお話をします。

さて、まず オンライン会議 についてですが、オンラインのメリット、デメリットということで、ちょっとまとめさせていただきました。まず、メリットですが、交通費と移動時間の削減、あとは低コストで運用できます。また、会議資料の準備が容易とありますが、印刷なども最低限で済むのではないかと思います。様々な働き方の実現ということでリモートワークも多いと聞いております。意思決定のスピードが向上するというのも言われているようです。その他としましては、感染症対策や災害時、緊急時の活用ができるということ。もう一つは、エコロジーの貢献とありますが、いろんな意味で節約できる部分が多いということなのだろうと思っております。では、デメリットの方ですが、まずは通信状況に非常に左右されます。1 番のデメリットは表情や雰囲気を読み取りにくいということがあるようです。これはちょっと日本人にとってみると空気を読む民族ですので、そういった意味ではデメリットが大きいかと思っております。その他としましては、プラスアルファのアイデアが発生しにくいということがあります。最後は、基本的な I T スキルが必要ということ。さて、オンライン会議をロータリーの会合とか、そういった行事にあてはめてみるとどうなるかということですが、○ができる、×は困難、△はハイブリッド式で分けさせていただきました。例えば、セミナーや研修会ですが、逆に言うとオンラインの方がわりと伝わったりする場合もあります。通常の例会や理事会はやはり△でしょう。顔を見ながら話すほうが、議論が深まるという印象があります。また、委員会もそうですし、地区の委員会もそうです。情報の伝達には向いていますが、いろいろな意見を出し合っていくというのは、顔を見てしゃべった方がよいというような意見が多いように思います。あと、地区大会や IM ですが、今回の IM はオンラインオンリーですが、この辺も△かなと思っております。また、実際の社会奉仕活動や夜間例会、懇親会を伴うような夜間例会については、これは無理だなと思っております。ちょっと整理してみると、セミナー、研修会などはオンラインでいいのではないかと私見ですが思ったりします。オンライン会議には情報の伝達には十分だが、人とのつながりには物足りないということで、オンライン懇親会等の工夫は必要かもしれませんということです。あとはケースバイケースの使いわけがポイントになります。やはりメリットは非常にたくさんありますので、そのメリットに目を向けていただいて、積極的な導入をしていただくと、さらにロータリー活動に幅が出るというか、活性化につながるのではないかと私は実感をしているところです。

会議名	○ × △
セミナー・研修会	○
通常例会・理事会	△
委員会	△
地区大会・IM	△
社会奉仕活動	×
夜間例会（懇親会）	×

次は 2 つ目の ホームページや SNS での発信 ですが、実は 2021 年 10 月、地区で Facebook SNS のサイトがありますが、それを使って調査をいたしました。その結果をご覧くださいと思いますが、「クラブの Facebook のページがある」と答えたクラブは 63 クラブ中 31 クラブ、約半分です。ただ、更新頻度に差があるとわかりました。割と毎週更新している更新頻度が高いクラブは 31 クラブの中でも 8 クラブくらいです。少なくとも 2 週間に 1 回は更新しているというのが 8 クラブです。3 か月に 1 回くらい更新しているというクラブが 6 クラブ。Facebook ありますよと言いながら、もう前にやっていた担当者が変わってしまったので、今は更新していません、休眠していますというクラブが、7 クラブがありました。これだけ更新の頻度に活動の差があるということがわかったわけです。「SNS に取り組んだことがありますか」という質問の中で、母数の 35 ですが、上の 31 クラブにプラス 4 クラブに答えていただいたので、ちょっと中途半端な数になったのですが、35 クラブ中、SNS に取り組んだことがあるのが 19 クラブ。「どんな SNS ですか」という問いに対して、15 クラブが Facebook、あとは YouTube です。「YouTube でやったことがある」というのが 3 クラブ。これはほとんどが例会を録画して YouTube のチャンネルに動画をあげているというクラブで 3 クラブありました。その他、「SNS を使って発信したことで何か効果がありましたか」という問いに対して、これは 19 クラブ中 16 クラブが効果を感じたというお答えをいただいております。どんな効果を感じたかということですが、具体的には、「事前に例会活動を周知できる」「クラブコンペ等の親睦活動を掲載して、コロナ禍でも会員同士のコミュニケーションできた」「他クラブや

一般の方にも PR できた」「会員から奉仕活動への励ましの言葉があり、つながりを感じた」「例会欠席者に活動状況を伝えている」「全国から「いいね」をもらうことでつながりを感じた」「今年度からなので継続が重要と感じている」「ロータリークラブ会員以外に活動や例会の雰囲気伝えられる」「他クラブから連絡があった」「デジタルスキルの差によって安定的な運用に課題がある」「使い方の勉強会が必要だと感じている」など、会員全員が使えていないということだと思います。あとは「会員の情報源になっている」「5年目でフォロワー600人を超えた」これは凄いですね。あとは「オンライン例会に約半数が参加して手ごたえを感じている」「ロータリーの友から取材された」など、そういうことがありました。非常に前向きなご回答をいただいているなということがよくわかりました。SNSに取り組んでいるロータリークラブは、手ごたえを感じており、クラブ活性化に寄与しているのではないかと仮説が立ちました。

さて、**My Rotary の活用**に少しお話を進めたいと思っています。現状であります、当地区の登録率の推移ということで、これは昔の資料で、2018年しか見当たらなかったもので、4年前の資料であります、ちょっとご覧いただければと思います。県北第二分区は当時58.5%。当時2530地区全体としては48.2%、半分以下ということだったようです。さて、2020年2月の資料ですが、県北第二分区77.19%と躍進しております。地区全体としては57.04%です。では、実際にどのぐらいの人数が登録で増えたのだろうかということで、比較をしますと、実は2018年から2022年までの4年間で、地区全体の会員数は減少しています。会員数の減少を合わせてみると、増えている人数としたら実質42名。ちょっと計算してみると、県北第二分区はあと7人登録すると80%を超えます。また、あと20人登録すると85%を超え、地区内トップになります。今の登録率の推移です。最近、**My Rotary**が変わってきました。最近ではラーニングセンターが非常に充実しています。そういった意味では、非常に大きなコンテンツの1つになっているのではないかと感じています。私も来年は福島ロータリークラブの会長を仰せつかっておりますので、実は今、ラーニングセンターでクラブの委員会の方々に「必ず勉強してください。必ずこれをやってみてください。委員長はじめ皆さんやってみてください」とアナウンスをして、皆さんにやっていたい最中なのです。これを1回クリックして、勉強してみるだけで、だいぶこの委員会やロータリーに対する見方が変わって、より深くなっていく、そういったことを感じます。ですので、今日ご参加の皆さん、1回やってみてください。クリックしていただくと「なるほどな」と前向きな気持ちになったりしますので、そういったことをご紹介させていただきました。



では、それぞれのIT化推進の目的ということで**本日のまとめ**です。オンライン会議は経費と時間の節約、コロナや地震など、最近は災害も多いので、そういった危機的な状況の回避もあげられるのかなと思っています。また2つ目、ホームページやSNSの発信ですが、これは協力者や支援者発見につながります。私たちの活動を協力したり、支援してくれたり、そういう方も大事ですが、逆にその活動を見て、私の団体にロータリーが協力してくれたら楽なのにと、女性の生理の貧困問題などいろいろあります。男女共生センターさんにもお声掛けしていただいたり、向こうの方も支援者や協力者を探している場合があります。それが会員の方につながると考えております。**My Rotary**の活用は、迅速な情報の獲得はもとより、リーダー養成、リーダー育成などクラブでは難しかったりする場合もありますので、**My Rotary**を上手に使っていただくとよいのではないかと思います。IT化推進の目的は、コミュニケーションを増やし、ロータリーの活動、クラブを活性化させ、奉仕の理念を実現する事ということで、ちょっとロータリーっぽくまとめますと、IT化を回すと公共イメージの歯車が回って、クラブの活性化という大きな歯車がその次に回っていくというようなイメージで考えていただければと思います。

ちょっと脱線するかもしれませんが、まとめとして2020年にこれとは違う調査をしました。その時にロータリーのロゴマークを知っていますかと質問があったのですが、「知らない」と答えた方が福島県民2000人中84%が「知らない」。「知っている」と答えた方は16%しかいませんでした。また、ロータリークラブを聞いたことがありますかという問いに、「聞いたことがある」と答えた方が55%いらっしゃいました。その中でロータリークラブが何をしているのかわかりますかという質問に、55%が「何をしているか知らない」と答えた方の32%が「わからない」というのが正直な印象なのでしょうね。お金持ちが昼間ご飯食べているのかというようなすごく厳しい意見もありました。そういったのが実際の現状であります。この現状を少しでも変えるために、IT化、公共イメージの推進、クラブの活性化を図っていただければと思います。ちょうど時間となりましたので、私の発表は以上とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

🌟クラブ発表 テーマ「クラブIT化の現状と問題点」

①福島北RC 齋藤嘉紀 幹事 今年度、2021—22年度もコロナ禍での例会開催のため、クラブIT化に



関しては模索しながら開催をしておりますが、まずは例会について、どこかで線引きを行うために、緊急事態宣言下においては原則休会、まん防下においては、ハイブリッド例会での開催としました。最初は臨時理事会等で、開催の有無を諮りましたが、その他、感染状況次第では会長一任といたしました。YouTubeでのハイブリッド例会としたことやZoom開催では、アプリのインストールや、各個人での接続作業が必要なことから、動画同時配信での開催としました。アドレスがわかれば、テレビでも視聴することも可能です。出欠の方法は、可能な限りコメント欄にコメ

ントを残してもらうことや、事務局に参加した旨の報告をいただく形をとっております。しかしながら、問題としては、一個人に配信の準備を頼っている部分があり、カメラ、マイクなどお借りしていたことや、その会員が不在となった場合の対策まではたっておりません。Facebook に関しては、例会の写真等をアップして更新をしております。投稿できる会員は数名おり、写真、文章の投稿をお願いしております。これに関しての問題点は、写真にタグ付けなどをすると、夜間例会の写真などの投稿をすることが、現状、控えなければならないと思われることです。これは HP での例会報告にも同様のことが言えるかと思えます。My Rotary の登録は 100% を維持するために、新入会員には入会后、即座に登録をさせていただいております。例会での報告の際に、基金の件などをお伝えすることなどで、閲覧を促す程度なので、会員の皆様の頻度までは把握できません。その他、プログラムの送信、出欠なども一部の方には、メールなどで直接返信いただけるようにはしておりますが、やはり PC、スマホなどの使用に慣れていない方にとっては、FAX でのご連絡がまだ必要かと思えます。あとは、諸先輩方に参加していただくにはどうするかというのが一番の問題となっていくかと思えます。こちらをどういう風にするのか、また、出欠についてや、HP の充実などもクラブの IT 化を進めていには一つなのかなと考えております。

②保原 RC 相澤義和 公共イメージ・IT 委員長



新型コロナウイルスの状況を踏まえつつ、クラブ運営の進め方に苦勞しているのはどのクラブも同じだと思います。特に例会開催についても、以前のように会場で笑い声や話し声が少なく感じます。活気がないわけではないのですが、マスク越しの会話は寂しく感じる時があります。とはいえ、感染症対策を十分に配慮し、例会を開催することは大事だと思います。当クラブでも、前年度より感染状況に応じてハイブリッド例会、WEB(Zoom)例会を行っています。昨年には、WEB 発信場所としてチンチン電車から発信して例会を行いました。ちょっとした移動例会のようで会員からは好評でした。WEB 環境整備についても、比較的若い会員が多いので、自分たちで準備をすることは容易にできました。公共イメージ・IT 委員会を中心に、例会前に WEB 発信の準備を

しています。パソコンが苦手な会員にも、伊達 JC と連携して Zoom の使い方など勉強会を行い、パソコン以外でスマートフォンでも繋げることを確認してもらいました。その後も何度か公共イメージ・IT 委員会メンバーが、個人的に会員にレクチャーしていますので、ベテラン会員でも使えるようになってきました。また、4年前から SNS を活用して、クラブで行った例会や事業を Facebook で発信しています。こちらも公共イメージ・IT 委員会委員長が自ら発信しています。My Rotary の登録率に関しては、呼び掛けはしていますが、なかなか増えてはいません。やはり、今一度、未登録の会員を対象に公共イメージ・IT 委員会を中心に、登録のお手伝いをしていかなければならないと思います。課題と問題点は、通常例会には参加者は多いのですが、WEB 例会となると少なくなってしまう。また、ハイブリッド例会を開催した場合、会員には会場内に来ていただけますが WEB 参加は少なくなります。ハイブリッドは必要なのかと感じる時もありますが、会場に来れない方もいますので行った方がよいと判断しています。WEB 開催でも、出席率を向上させるにも内容などに創意工夫が必要と感じました。

③福島東 RC 荻野 毅 会長



当クラブの IT 化の現状と問題点を発表いたします。本年度、当クラブにおいて IT 化された作業や活動は 4 つあります。1 つ目は、オンライン上でのハイブリッド例会の開催や Zoom による理事会の開催です。毎回ではありませんが、コロナ感染者数が急増傾向にある場合や、感染に不安を抱えている会員が多い場合、オンライン上での例会や理事会を開催しております。また、コロナ禍以外、災害時にも活用できるのではないかと考えております。2 つ目は、例会時における席順を紙で作られたクジから、iPad のアプリを使ってルーレットで決めております。アプリを使うことで、以前、手作りでクジを作っていた会員さんや事務局さんの手間を省くことができたということと、音楽付きのルーレットで席順を決めるので、ゲーム感もあって少し楽しんでおります。3 つ

目は、例会時の出欠確認や連絡事項ですが、以前は FAX で確認をとっていましたが、今年度よりメールでの出欠確認を行っております。メールアドレスを持っていない会員もいらっしゃるの、現在は FAX とメールと両立して確認や連絡をとっております。メールで出欠確認を取るようになってからは、会員からのレスポンスが早いというのと、事務局でも出欠者の管理がしやすくなったと報告を受けております。4 つ目は、理事会等で必要な書類や写真データをクラウド上で共有しております。予め必要な書類等をクラウド上に準備しておくことで、事務局や幹事をお願いすることなく、自分の好きな時にクラウド上から自分が必要な情報を取り出せるようになっております。SNS についてですが、当クラブの活動などは HP 上に掲載しております。当クラブ内での IT を取り入れたことで、実際に作業時間の短縮や便利になりましたが、まだまだ IT 化に関しては無関心です。実際、PC やメールアカウントを持っていない、使い方がわからないという会員さんもいるので、IT を用いる作業や活動を行う場合、特にコロナ以降、一部の会員さんに負担がかかっているような気がします。まずは、ロータリー活動の本質を明確にし、クラブの方向性やバランスをみながら、根気よく、計画的に IT 化を進めていくのが今後の課題かと思えます。

④梁川 RC 清水建志 戦略&IT 委員長

My Rotary の登録状況は登録 100% を目標に活動していますが、2022 年 4 月現在、75% (会員数 16 名中 12 名) となっており、引き続き、例会等で呼びかけするなどして、全員登録を目指したいと考えております。リモート例会、ハイブリッド例会の開催状況ですが、新型コロナウイルス



スが蔓延し始めた2020—2021年度に、リモートでの例会を検討し、会員とZoomの使用方法を研修する場を持つなど準備を進めました。開催にあたっては、リモートでの参加を希望する会員を募り、ハイブリッド方式にて2回ほど開催しましたが、その後、リモートでの参加を希望する会員が出ることはありませんでした。現在、梁川RCの例会は全て対面式で行われており、リモート例会やハイブリッド例会は開催していません。梁川RCにおけるIT化の問題点は、My Rotaryの登録を完了しても、私含めクラブ活動の上で、普段から活用しているかという点と活用していないのが問題点です。活用できていない理由として、活用しなくても不自由なく活動できてしまうからだと考えております。クラブ活動をより理解するには、My Rotaryを活用した方がよいのですが、そこまで至っておりません。また、クラブ内にて、リモート例会、ハイブリッド例会を検討する場の中でも、「例会は顔を合わせて行うことでよりクラブの絆が深まる」という意見や、「会場に来られないのは、予定があるから来られないので、リモートであっても、欠席は欠席である」という意見が多く、リモートを活用するメリットが感じられておりません。このへんのところを根気よく改善することが必要と感じています。

⑤川俣RC 齋藤昌克 会長



当クラブとしましては、IT化が非常に遅れているかなと感じております。My Rotaryの登録ですが、60%は超えておりますが70%弱というところで滞っております。実際、皆さんがおっしゃっていましたが、リモートでの例会ですが、当クラブでは開催することなく、すべて対面例会になっており、コロナが多かった時期には休会という形を取らざる得ませんでした。そういったことから今後は、成功事例を参考にしながら、これからやっていきたいと感じております。また、当クラブはHPをもっておりません。今年度の委員長が作りたいた話だったのですが、実際のところ、開設まで至っておらず、次年度に持ち越しになるのではないかと感じております。現在の当クラブの広報としましては、従来の手書きで、例会をやりましたら、手書きでこういった内容でやり

ましたということで、写真を貼って、紙ベースで皆さんに見ていただくということを長年やっております。そういったところをHP等で充実をさせて、今どういった活動をクラブでやっているのか、そういったところを気軽に見ていただけるような仕組み作りをしたいと感じております。また、その中で会員の皆さんの意見を気軽に取り入れていければ、使いやすくなるのかなと感じています。先ほど、福島東ロータリークラブさんの中で、出欠をFAXではなく、メールでスムーズにやっているとお話がありまして、この辺もすぐに取り入れたいと感じています。また、資料をクラウドで管理して、いつでも会員の人たちが見ることができるというのは、非常によいと感じました。そういった点から見ても、非常にクラブとしては、IT推進に遅れているので、身近にできることから少しでも進めて、徐々に会員の皆さんに浸透していけるように、勉強会をやりながら、理解いただきながら、少しずつ進めていく必要があると感じています。今日は次年度の会長、幹事もおりますので、少しずつ、そういったところを改善しながら、私もフォローしながら、これからITを推進し、効率的なクラブ運営ができるようにしていきたいと考えております。

⑥福島しんたつRC 奥 寛克 幹事



お疲れ様です。会長が参加するはずでしたが、今日は参加できず、代わりに発表させていただきます。クラブの現状としては、今はオンライン例会とハイブリッド例会を月3回程度開催しております。ハイブリッド例会の方では、Zoomを使ってしております。全部Zoomの方がよいのではないかと、理事会がある時はハイブリッド例会方式を進めて、他の時はZoomでオンライン例会のみで開催しております。他のクラブさんですとSNSなどの発信がありますが、当クラブではそういった事はやっておりませんので、これからの課題かなと考えております。My Rotaryに関しては、確か六十数%台で登録していると思います。誰が登録していないのか、現状現場を見て、登録して

いない方の登録の依頼が必要だと思っています。実際にやっていただかないと、実施率は上がっていかないので、登録していない方に教えて、一緒に登録してあげることが必要だと思っています。あとは問題点として、今Zoomでやっている例会が30分ですが、コミュニケーションがやはり取れないというのが問題点です。遠方の方はオンライン例会の方が参加のしやすさはあると思いますが、実際は対面で話すのと、画面を通して話すのでは、全然、伝わり方が違うし、表情がつかめないなので、その辺がどう伝えていくべきか課題かなと思っています。他クラブの実施している内容をクラブで発信して、今後どうしていくか検討してまいりたいと思います。

⑦飯坂RC 伊藤俊憲 公共イメージ・IT副委員長

飯坂ロータリークラブは、地域住民らにクラブ活動の意義を広く伝えることに加え、会員一人一人の意識高揚、成長に向けて、時代のニーズに沿う形でITの推進やSNSの活用などの取り組みを進めてきました。2019—20年度より、それまでの「会報・広報・雑誌小委員会」を「公共イメージ・IT小委員会」に名称を変更し、地区委員会の方針を踏まえたIT化を推進しております。具体的には、クラブ公式HPを開設し、活動状況のほか、週報などの情報を毎週更新しながら運用しております。刊行物のPDF化や入会案内の掲載など工夫をしております。現在はクラブ担当者一人が更新作業を行っており、



組織的な運用が必要だと考えており、実現すべく検討しております。また、クラブ公式 SNS としては、Facebook と Twitter を運用し、週報をメインに活動状況を定期配信しております。My Rotary については、クラブ I T 担当者による代理登録を行い、登録率 100% を実現いたしました。今後は利用可能者に実際の利活用を促し、ラーニングセンターをはじめとした活用を図っていききたいと思います。コロナ禍を踏まえたオンライン例会の開催は、昨年 9 月 30 日に実証テストを実施し、会員 17 人が参加いたしました。その後は、ハイブリッド例会開催に向け、機材の準備やルールの方針などの準備を進め、今月 3 月からハイブリッド例会を実施いたしました。オンラインでの参加人数が少なく、継続の必要性を検討中です。一方、課題としては、クラブ公式の HP と SNS、My Rotary の登録などについて、クラブ I T 担当者一人が限定的に更新作業を行っており、現在はクラブの組織的運用の実現に向けて検討を進めております。My Rotary についても、実際の利用率や活用状況は低迷しており、継続的に会員一人一人が活用できる環境整備、意識啓発が必要と考えております。ハイブリッド例会の安定的な開催に向けては、機材の準備や運営担当会員の負担、シニア会員を含めた I T 対応が困難な会員のケア、昼食の有無など、公平性の確保などが課題として浮かび上がっております。I T を活用した出欠システムの導入、例会ライブカメラの導入、専門アプリの導入など、例会のハイブリッド化など選択肢の拡充に向けたあらゆる手法を模索していきたいと考えております。

❁ 質疑応答



【佐藤真也 県北第二分区分幹事】 長時間にわたり、ありがとうございます。地区公共イメージ・I T 委員会相良委員長、ご講演ありがとうございました。また、各クラブの代表の皆様から、各クラブの現状について、それぞれお話をいただきました。ありがとうございます。ここで、皆様からの質問やもう少し先ほどの話を詳しく聞いてみたいという方のお話をお伺いできればと思います。ご質問が無ければ進めさせていただきます。この I M に先立って、各クラブの代表の方に簡単なアンケートをとらせていただきました。大きく分けて「オンライン例会について」「HP や SNS を使ったクラブの情報発信に関して」「My Rotary の登録と活用について」、順番にいくとオンライン例会については、県北第二区今

7 クラブあるうち、2 クラブを除いて、何らかの形でオンライン例会を実現されているという状況です。先ほど皆様からありました通り、問題は多いのかなと思います。オンラインだけでは例会にはならないというご意見もありますし、ハイブリッドにすればしたで、せっかくだから来るという人が段々多くなり、ハイブリッドで参加する人が最近減ってしまい、そのためだけにハイブリッドの準備をするのはいかになものかというご意見、リアルで例会に参加される人と、オンラインで参加する人と食事があるとか無いとか、そういった不公平の問題も出てくる。その中で、オンライン例会の目的をどこにもっていくのかということだと私は思っております。実際にコロナ禍で緊急的に、例会を中止じゃない方向でやりたいという目的でやるのであれば、本来の目的が達成されるだろうと思いますし、先ほど言った通り、例会に来る人の参加のしやすさ、あるいは出席率を少しでも上げていただくという目的で、オンラインでも参加でもできますよという形のハイブリッド例会では、全く目的が違うと思っておりますので、そういった中で、コロナ禍で皆さんご苦労されてきたのかなと、アンケートの結果でも、そういったところが反映されていると思います。ここで相良委員長にお聞きしたいのですが、今お話ししたような内容について、どのようにお考えなのか、また、ライブ配信について、所属の福島ロータリークラブさんは配信されておりますので、それについてもお話をいただければと思います。お願いいたします。

【相良元章 地区公共イメージ・I T 委員長】 少し区切りながら、お答えさせていただきたいと思いますが、オンライン例会は、一人とか二人とか、誰も参加しないということもあると思いますが、これは参考になるかわかりませんが、私のクラブでは通勤族の方が多くいらっしゃいます。昨年あたり、緊急事態宣言下では、会社から一切参加を止められていて、参加したくても参加できない方が、結構多くいらっしゃいました。その中で、ハイブリッド例会にしたのですが、その時は 4、5 人の方にそういった形で参加をしていただきました。そのような会社の事情や、何か特殊な事情の中で、その人の参加の機会を奪ってしまって、果たしていいのか、一人であろうが、やはり参加の機会を平等に与えるべきなのではないかと思っております。そういった状況が、例えば長く続くとやはりロータリーに行けない、辞めてしまおうかというようなことにも、つながっていくのではないかと思います。確かにお弁当の問題や、そういったことがあるとは思いますが、その辺は逆に工夫をしながら、やり方はいろいろあると思います。できるだけ参加の機会を平等に与えるべきじゃないかと思っております。また、YouTube の話ですが、YouTube は難しい面があります。いろいろな設定を YouTube でするのですが、何も設定しないと、全世界から誰でも見れてしまうという状況になって、果たして例会がそれでいいのかという話もあります。設定をいろいろ工夫すれば、限定した人に対する公開にすることもできますが、ある程度 I T のスキルが必要だということになります。今のところ YouTube よりも、逆に Zoom や福島しんたつロータリークラブさんがやってらっしゃる LINE での配信の方が向いているという印象があります。

【佐藤真也 県北第二分区分幹事】 ありがとうございます。やはり、各クラブで検討していく必要があると思います。続いて、HP や SNS という部分について、こちらはアンケートで 7 クラブ中 4 クラブが公式 HP を持ち合わせております。他の 3 クラブはまだ無いという状況になっています。どうしても HP を作るには、お金がか

かるし、維持するにもお金がかかるので、クラブの金銭的な負担もあります。あるクラブについては、運用状況をどのぐらいの頻度で更新していくのか、どんな内容を発信していくのか、発信する頻度、実際に更新作業を業者にまかすのか、それから、クラブの担当者がやるのか、そういったところの違いというのが若干あるとご回答をいただいております。いずれにしても、クラブ内できちっとした組織を構築して、そういった情報発信をする担当と、それが一人に偏って、その人の負担が増えるということではなく、持ち回り制、あるいは当番制で、複数の人数で共有しながらできる環境を作っていく必要があるのかなと感じました。金銭的な部分でいうと **Facebook** とか **Twitter** やインスタ、**YouTube** もそうですが、そういった **SNS** アカウントを設けていただいて、そこで情報発信をすればお金がかかりませんので、積極的にクラブで活用していただければ、相良委員長にも喜んでいただけるのではないかと感じておりますので、せっかくクラブでよい活動をして、それをたくさんの人に知っていただいたり、それをきっかけに新しい会員が増えたりという結果に結びつけていければと思っておりますので、その辺は各クラブで取り組んでいただきたいという印象を受けました。また、**My Rotary** ですが、これは非常に難しい問題があると感じております。皆さんのご意見やアンケートで、やはりメールもあまり使わないとか、アナログな会員の方がどうしてもおりますので、その方々には物理的に無理があると思います。ですから無理せず、日常仕事でメールを使ったり、インターネットを使ったり、サイトにログインしたり、アカウントをとったりということが出来る方については、十分 **My Rotary** が活用可能な会員さんですので、その方たちだけでも活用結び付ける必要があると思います。飯坂ロータリークラブは、実際、本当はやっちゃいけないような方法で、結果として **My Rotary** の登録率100%にしておりますが、これは代理登録をという裏技で、本来の目的から逸脱したような方法での登録率ですので、実際に使える方に登録していただいて、それが60%でも70%でも、その方が素晴らしいのではないかと思いますので、その登録率にこだわらず、リアルで登録していただくことが大事だと思います。毎月のガバナー月信の一番後ろのページに、**My Rotary** の各クラブの登録率が出ますので、そちらをご参考にさせていただきながら、各クラブで登録率を推進していただきたいと思っております。ここでちょっと、福島北ロータリークラブさんにお聞きしたいのは、福島北ロータリークラブさんが登録率100%で、なおかつ代理登録者ではなく、すべてご本人による登録で実現されています。その辺について、ノウハウやどんなご苦労があるか、お聞きしたいのですが、お願いいたします。

【福島北RC 木村春夫 会長】 先ほどお話したように、パソコンをやられている方、情報処理関係の方が結構多いものですから、そういった部分で皆さんやっていたからだと思います。なかなか年齢の幅が広いという部分もあるのですが、そういった方々には一緒に、一人だけで登録するのではなくて、何人かで集まって登録するということでした。

【佐藤真也 県北第二分区分区幹事】 ありがとうございます。そういった形で、実際にクラブとして **My Rotary** の登録や活用をいかに推進していくか、やる気の問題というのがあるのかなと思いますので、我々のクラブも今のお話を参考にさせていただきながら、県北第二分区分の皆さんで、全体の登録率を上げていく方向にもっていければと思っております。よろしく願いいたします。もう一点、私の方からお聞きしたかったのが、福島東ロータリークラブさんにお聞きしたいのは、データのクラウドによる共有化であったり、メールによる出欠のシステム化とか、そういった部分で、これからはすごく大事になってくると思っております。というのは、事務局負担をいかに減らしていくかというのが、これからのロータリーの大きな課題になっていくと思っております。そういった中で、クラブでデータを共有し、誰でも見れるとか、限られた人が見れるというシステムを作るとか、出欠をいちいち確認しないで見てわかるとか、そういうのが必要かなと思います。それを今推進していくにはあたってのご苦労とか、お聞かせいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

【福島東RC 荻野 毅 会長】 今現在ですと、苦労は特になくと思います。と言ったら事務局さんに怒られるかもしれませんが、**Google** を使って出欠確認をしていると思います。先ほど幹事が言っておりましたが、事務局さんがすごく手間がかかっている状態でしたので、できることなら、私も電話をして資料が欲しいというよりも、ある程度、**Dropbox** 上でデータがあれば、いつでも見れるという、非常にやりやすくなっているのかなと思っております。本年度は会長、幹事、事務局、プログラムの4人で共有しておりましたが、次年度は理事に関しても、できることなら、みんなで共有したいという話をしていますが、たまに **Dropbox** 上で、他の人が資料を消してしまったということが1度だけあったので、その辺は使用場の注意だけは、今後はしっかりと皆さんで話し合っていきたいと思っております。

【佐藤真也 県北第二分区分区幹事】 ありがとうございます。大変参考になりました。福島しんたつロータリークラブさんでも、同じように **Dropbox** を使ったデータ共有をされているみたいなのですが、お答えいただけますか。

【福島しんたつRC 菅野稔久 会長】 **Dropbox** についてなのですが、毎年、年次計画書作成の際に **Dropbox** にデータを保存してしまっていて、そこからデータを使っているような形です。

【佐藤真也 県北第二分区分区幹事】 ありがとうございます。データを共有すると非常に便利になるのかなあと思いまし、事務局の負担軽減、いちいち資料をくれ、どこにあるかというようなことをしなくても、会員間でデータを共有したりできるということは、これからのロータリークラブの運営に大事なのかなと感じましたので、他のクラブの方も参考にいただければと思います。最後に、保原ロータリークラブさんの方から、皆さんに聞きたいということで、今日も **Zoom** を使ったオンライン形式でやっておりますが、有料アカウントは当然時間制限があったり、有料アカウントを使って会議をするということにあたって、使用料の決済にクレジットカードが必要だと

ということで、その辺を皆さんはどのようにしているのかということがありました。それについて、クラブ名義のクレジットカードというのではないと思いますが、個人で代わりに立て替え払いをして、クラブからその分をいただくということなのか、それについてお話しいただける方どなたかいらっしゃればお願いします。

【保原RC 白井貴光 会長】 今、基本的には個人のカードを使って、最終的には立て替え払いをしていただいて、後ほどお支払いをするという状態が続いております。その辺が一番課題かなというところはあります。他のクラブさんはどうしているのかお聞きしたい部分であります。

【佐藤真也 県北第二分区幹事】 ありがとうございます。そういうことなのですね。どなたかうちはこうしているという方がいらっしゃれば。皆さん、そんな感じですかね。やはりそういうところにまだ課題があるかなと思っていますので、何かよい方法がありましたら、クラブを跨いで、分区内、地区内で、そういった情報提供をいただきながら、皆さんでこのクラブのIT化を推進していければと考えております。今日は時間となりましたので、一応この時間はここで終了とさせていただきますと思います。本当にありがとうございました。



※講評 第2530地区ガバナー 志賀利彦 様 長時間にわたり、皆さんお疲れ様でした。まず、公共イメージ・IT委員長の相良元章様からRIおよび地区のIT化推進の現状ということでご講演をいただきました。そして、その後、7クラブの皆様より、クラブのIT化の現状と問題点について、お聞きいただきました。素晴らしい発表だったと思います。私は冒頭の挨拶の中でお話をしました通り、このIT化につきまして、コロナのおかげでここまで伸ばすことができだと言っても過言ではないと思います。ガバナー事務所におきましても、IT化を推進していかなければ、事務がものすごく煩雑になっているのが実情です。これは素早いIT化によって、だいぶ改善されているようです。ロータリーは例会が基本だと私は思います。楽しい例会でなければいけないと思います。今のところ、上手にこのIT化の流れは作っていくものだと私は信じ利用すべきだと思います。そして、先ほど言いましたように、楽しいロータリーにするために、元気でそこに近づいていただきたいなと思っております。皆さんそれぞれの立場で、上手に苦心してやっていただいておりますので安心しております。これから長い付き合いになると思いますので、どうぞよろしいお願いいたします。簡単ではございますが、講評とさせていただきます。長い時間、お疲れ様でした。

※講師への謝辞 安齋忠作 県北第二分区ガバナー補佐 相良元章委員長様、本当に知らない部分まで詳しくお話をいただきまして、誠にありがとうございます。セミナー研修等々については、このようなIT化もいい手段だなと、やはり人とのつながりというのについては、多少問題があるということで、このIT化についても、私たちいろいろロータリーを運営していく中で、有利に使っていきたいと思います。今後とも、いろいろIT化についてご指導を賜れば幸いです。本日はどうもありがとうございます。

※次年度ガバナー補佐紹介 安齋忠作 県北第二分区ガバナー補佐 次年度、県北第二分区ガバナー補佐といたしましては福島東ロータリークラブの網代智明様です。次年度お世話になります。よろしくお祈りいたします。

※次年度ガバナー補佐挨拶 福島東ロータリークラブ 網代智明 様 只今、ご紹介いただきました福島東ロータリークラブの網代でございます。次年度ガバナー補佐にご指名いただきました。先日のPETSでは残念ながらオンラインでの開催となりましたが、そこで私も本気になって地区の資料を引っ張り出したりと、何とかPETSに乗り遅れないように、一緒に勉強させていただきました。先月には、初めて対面式での次年度の会長・幹事会を開くことができました。これからはコロナ感染防止ということを考えながら、できる限りブランクを取り戻し、皆さんと直接お会いして、色々お話をさせていただきます。



いただき、皆さんのお話をよく伺ったりと努めてまいりたいと思っております。甚だ乏しい知識のガバナー補佐ではありますが、皆様方と共に勉強しながら、ロータリーを学びながら、有意義な1年にさせていただきたいと願っております。7月から始まりますので、どうぞよろしくお祈りを申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。よろしくお祈りいたします。

インターシティーミーティング 参加クラブ	
福島北ロータリークラブ	10名
保原ロータリークラブ	11名
福島東ロータリークラブ	10名
梁川ロータリークラブ	11名
川俣ロータリークラブ	7名
福島しんたつロータリークラブ	2名
飯坂ロータリークラブ	26名
来賓：第2530地区 ガバナー	志賀利彦 様
地区公共イメージ・IT委員長	相良元章 様
合計	79名